

教 科	工 業	科 目	実 習 A	単位数	4 単位（7 単位の内）
学 科	繊維デザイン科	学 年	3 学年	コース	デザインコース
学習目標	社会の中で通用するデザインの技術を体得するとともに、デザイン及びものづくりに対する姿勢や考え方を習得する。				
学習内容	学習項目		評価規準【評価の観点】		
	1 表現研究 (1) 鉛筆デッサン ア モチーフの検討 イ モチーフの配置 ウ デッサン (2) CGによる描画 ア イラストレーターの操作 イ フォトショップの操作		・大きな画面で複数のモチーフを描くことにより、配置やモチーフ間の関係を的確に把握し表現することができる。【A・B・C】 ・空間の中の存在としてモチーフを捉え、物や空間の関係を表現することができる。【B・C】 ・イラストレーター・フォトショップの応用機能を体得しようとしている。【D】 ・パソコンにおける適切な処理能力を培うことができる。【B・C】		
	2 グラフィックデザイン (1) ポスター制作 (2) 秋季県展作品制作 (3) 運動会パネル原画制作		・ポスターカラーを中心に材料と表現技法に習熟し、豊かな表現力を身に付ける。また、作品制作を通して計画性と追求する姿勢の伸長しようとしている。 【A・B・C・D】		
	3 プロダクトデザイン (1) ファッションデザイン選手権 デザイン画制作		・機能とデザインの両面について、適切な処理をすることができる。【A・B】		
評価の観点	【A】関心・意欲・態度 【B】思考・判断・表現 【C】技能 【D】知識・理解				
評価方法	作品の完成度、計画段階の意欲や態度、出席状況、服装等による総合評価				
教科書等	自作教材				
備 考	実習Aは繊維デザイン科コース科目であり、デザインコース対象に実施する。				

※評価規準は、学習の到達目標でもあります。

教 科	工 業	科 目	実 習 B	単位数	3 単位（7 単位の内）
学 科	繊維デザイン科	学 年	3 学年	コース	デザインコース
学習目標	デザインの企画立案に関し、繊維製品およびビジュアルデザインの分野でのプロセスを作業を通して学び、社会でのものづくりに主体的に対応できる能力と態度を培う。				
学習内容	学習項目			評価規準【評価の観点】	
	1 オリエンテーション 2 ビジュアルデザインⅠ （1）卒業アルバム表紙デザイン （2）知的財産権について 3 パッケージデザイン （1）企画プレゼンテーションボード制作 （2）企画プレゼンテーション （3）講評 4 ビジュアルデザインⅡ 運動会・パネルの原画制作 （1）テーマに沿ったアイデアスケッチ （2）画像処理ソフトによる編集 （3）プレゼンテーション 4 ビジュアルデザインⅢ 卒業制作展ポスター （1）テーマとモチーフ （2）原画制作 （3）CG加工 （4）編集と入稿 5 ビジュアルデザインⅣ （1）卒業制作デザインボード （2）知的財産権について			・実習に対する心構え、安全、服装、準備物及びレポートの作成の留意点を理解している。【A・D】 ・ビジュアルデザインについて理解し、レンダリング・プレゼンテーションする能力が身に付いている。【A・B・C・D】 ・産業財産権に留意し、デザインすることができる。【A・D】 ・テーマや依頼者であるクラスを想定しデザインを考え、手描きしたものを画像編集ソフトを使ってデータ化する技能を習得することができる。【A・B・C・D】 ・自分のデザインを言葉で説明し伝えることができる。【A・D】 ・テーマや依頼者である学校を想定しデザインを考えることができる。【A・B・C・D】 ・パソコンによるデザインの制作ができ、イラストレーターとフォトショップのソフトの違いを理解し、選びながらデザインすることができる。【B・C】 ・ネットによる入稿を設定した編集の知識が身に付いている。【B・C】 ・概要をふまえ、企画を具現化するためのレンダリング・プレゼンテーションする能力を養うことができる。【A・B・C・D】 ・知的財産権を理解し他者と自分の権利を尊重し制作することができる。【A・D】	
評価の観点	【A】 関心・意欲・態度 【B】 思考・判断・表現 【C】 技能 【D】 知識・理解				
評価方法	実習課題の完成度、レポート内容、出席状況に意欲・態度を加味した総合評価				
教科書等	自作プリント				
備 考	実習Bは繊維デザイン科コース科目であり、デザインコース対象に実施する。				

※評価規準は、学習の到達目標でもあります。